

契約事務あり方検討業務委託 プロポーザル選定 評価基準

審査項目	配点	評価内容	配点 ①×②	基本 点数 ①	評価 係数 ②
業務内容の理解度	10	業務目的、業務内容について十分に理解した上での提案となっているか。	10点	5点	2.0
事業内容	50	< 4 7 都道府県の全国実態調査結果に対する分析業務 > 他都道府県の標準契約書における各契約条文を集約したうえで分析し、その分析結果を整理した資料を本県へ提供するが、「分析方法・分析結果の整理方法」は具体的かつ効果的な内容の提案がされているか。	5点	5点	1.0
		< 標準契約書案の作成支援 > 受託者が「条文の用法」について調査し付記するコメントは、専門的知見やノウハウに基づいた適切な支援を期待することができるものか。	5点	5点	1.0
		< 県庁職員向け「標準契約書の運用に関する説明会」の開催 > 本県は、県庁職員向けの説明会の開催を検討している。受託者は、本県が開催する説明会で、「自治体契約の実務に精通した」学識経験者（弁護士、大学教授等）が説明する契約事務に関する研修を行う。研修内容は、県庁職員の契約事務に対する意識向上に繋がる内容となっているか。	10点	5点	2.0
		< 会議体の運営支援 > 会議体において生じる疑問や他都道府県の事例について、適宜調査や情報収集する方法は具体的かつ効果的な内容の提案がされているか。	10点	5点	2.0
		< 「持続可能な契約事務の支援体制の構築」に対するアドバイス支援① > 助言を行う学識経験者（弁護士、大学教授等）が「自治体契約の実務」に精通しているか。 （弁護士かつ自治体職員経験有5点、弁護士4点、弁護士以外かつ自治体職員経験有4点、その他3点）	5点	5点	1.0
		< 「持続可能な契約事務の支援体制の構築」に対するアドバイス支援② > 他都道府県における契約事務の体制を十分に把握しており、本県との比較を通じて、より効率的かつ効果的な助言や提言を期待することができる提案がされているか。	15点	5点	3.0
実施体制	10	本業務を円滑に遂行できるチーム体制を構築し、標準契約書の運用までのスケジュールを円滑に遂行できる体制になっているか。	10点	5点	2.0
業務実績	10	過去5年間（令和2年度から令和6年度）において、国、地方公共団体又は民間企業等から「契約に関する調査、支援業務」を受託し、誠実に履行した実績を有する者であること。（上限10点。） （実績1件 6点、実績2件 7点、実績3件 8点、実績4件 9点、実績5件以上 10点。）	10点		
価格	10	契約上限額と同額の見積価格を6点とし、見積価格が契約上限額から一定率（2%）下がるごとに1点ずつ加点。（上限10点。）	10点		
その他 （独自提案）	10	本業務実施にあたって、本県で利用可能な契約事務の合理化・効率化を図る技術・取組等。また本業務を効率的かつ効果的に行うための提案者としてのアピールポイント等	10点	5点	2.0

※審査委員の合計得点を集計し、最高得点の者を最優秀提案書とします。

（同点で複数の最高得点者が出た場合、「事業内容－実施体制－その他（独自提案）－業務実績－価格－業務内容の理解度」の順で点数の高い者を最優秀提案者とします。）

※提案者が1者の場合、全ての項目について審査委員の評価の合計得点が満点の6割以上であるか評価し、受託者を決定します。